

令和元年度「香川県夏休み親子環境学習講座」を開催しました！

県では、夏休み中の小学生親子を対象に、環境について楽しみながら分かりやすく学べる講座を平成25年度から毎年開催しています。本年度は、7月31日、8月1日の2日間、香川県立図書館において「まち・海・森」の3つのテーマの講座を開催し、親子122組（285名）に受講していただきました。

講座終了後のアンケートでは、ほとんどの児童が「また参加したい」と回答しています。多くの方に環境学習に触れていただけるよう、今後も楽しみながら学ぶ機会を増やしていきます。

まち「地球にやさしく暮らし隊」

樹木や芝生、落葉など身近な自然を題材に、緑を取り入れた「地球にやさしい暮らし方」について学びました。



太陽の熱で温められた砂利、レンガ、鉄板、落葉、芝生の温度を素足で体験し、周囲に自然が多いことで夏場の温度上昇を防げることを学びました。



色々な素材の温度を体感した後、夏に涼しく暮らせる家をイメージしながら、親子で材料を選び、家や樹木の配置を考えながら箱庭を作りました。完成した箱庭を並べると、涼しくらせる理想のまちが完成です。

海「かがわの里海守り隊」

かがわの里海やその魅力を知り、自分たちの生活が川や海にどう影響しているのか、実験を交えて学びました。



瀬戸内海がきれいになっていることや、地球上で水が循環していること、家庭や工場からの排水を浄化槽できれいにして川や海に流していることを学びました。



牛乳やケチャップ、米のとぎ汁がどれくらい汚れているのか、バックテストで実験し、川に汚れを出さない方法を親子で話し合い、班ごとに発表しました。最後はお楽しみの工作で「ホテルライト」を作りました。

森「いのちの森を守り隊」

地域に根ざした「鎮守の森」の役割を知り、人と自然との関わりについて学び、自由研究のまとめ方を教わりました。



神社やお寺の横にある「鎮守の森」は昔から変わらずあり、台風や大火事、大津波にも耐え、戦争で空襲を受けても残り、神社やお寺を守っていることを学びました。



講座で学んだ「鎮守の森」の大切さを自由研究としてまとめる方法を教わりながら、スケッチブックに書き込みました。教わったまとめ方で、どんなテーマの自由研究ができるのかな？